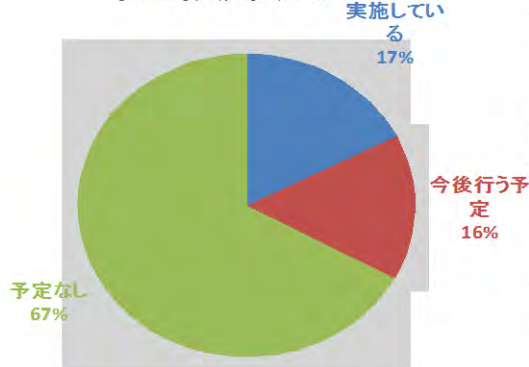


在宅診療アンケート結果

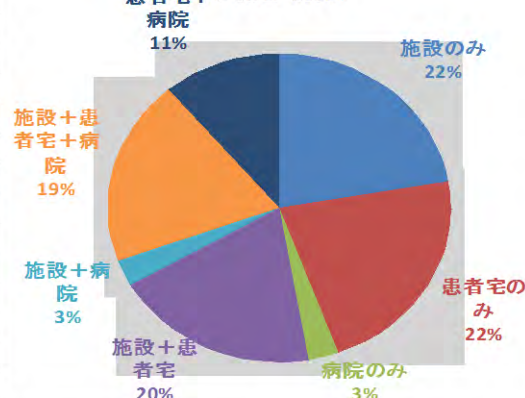
在宅実施状況	診療所数	比率
実施している	36	17.5%
今後行う予定	32	15.5%
予定なし	138	67.0%
合計	206	100.0%

実施場所	診療所	比率
施設のみ	8	22.2%
患者宅のみ	8	22.2%
病院のみ	1	2.8%
施設+患者宅	7	19.4%
施設+病院	1	2.8%
施設+患者宅+病院	7	19.4%
患者宅+病院	4	11.1%
合計	36	100.0%

在宅診療実施状況



実施場所



実施時期	診療所数	比率
診療時間内	31	86.1%
休診日	4	11.1%
全日	1	2.8%
合計	36	100.0%

実施者	診療所	比率
院長	9	25.0%
院長+スタッフ	15	41.7%
院長以外歯科医師	8	22.2%
院長以外歯科医師+スタッフ	4	11.1%
合計	36	100.0%

設備	診療所数	比率
購入	31	86.1%
借用	5	13.9%
合計	36	100.0%

在宅診療を行っていない理由	今後予定有	今後予定無	合計	比率
業務繁忙	17	102	119	70.0%
人出不足	15	40	55	32.4%
診療収入不採算	0	7	7	4.1%
連携業者無	3	7	10	5.9%
医療機器無	3	17	20	11.8%
知識不足	1	3	4	2.4%
需要無	6	11	17	10.0%
その他	0	1	1	0.6%
合計	45	188	233	

安心会計ニュースを動画で解説しています

毎月の安心会計ニュースのポイント動画を解説しています

当月の安心会計ニュースのポイントを当月の10日から翌月の9日まで動画でご覧いただけます。QRコードを読み取りご覧ください。



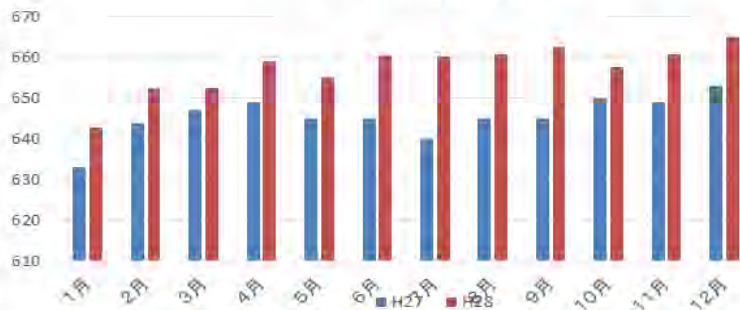
歯科会計

平成28年歯科患者データ分析

番号	年度	平成26年	平成27年	平成28年	前年比
1	診療日数	22.5	22.6	22.6	100.0%
2	診療点数	391,542	408,292	412,393	101.0%
3	レプト件数	338	353	341	96.4%
4	レプト1件点数	1,211	1,198	1,150	96.0%
5	実日数	631	645	626	97.0%
6	1回点数	638	648	659	101.7%
7	1日平均患者数	27.3	27.9	27.7	99.4%
8	月回数	1.93	1.87	1.84	98.1%
9	自由診療(円)	1,643,925	1,723,712	1,759,808	102.1%
10	診療収入(円)	5,561,751	5,806,510	5,883,741	101.3%
11	新患者	31	31	30	97.8%
12	再初診数	100	103	103	100.1%
13	再診数	207	219	207	94.4%
14	新患再初診比	3.24	3.32	3.40	102.3%

月	H27	H28	前年比
1月	633	643	101.5%
2月	644	653	101.3%
3月	647	653	100.9%
4月	649	659	101.6%
5月	645	655	101.6%
6月	645	660	102.4%
7月	640	660	103.2%
8月	645	661	102.4%
9月	645	662	102.7%
10月	650	658	101.2%
11月	649	661	101.8%
12月	653	665	101.9%
年間平	648	659	101.7%

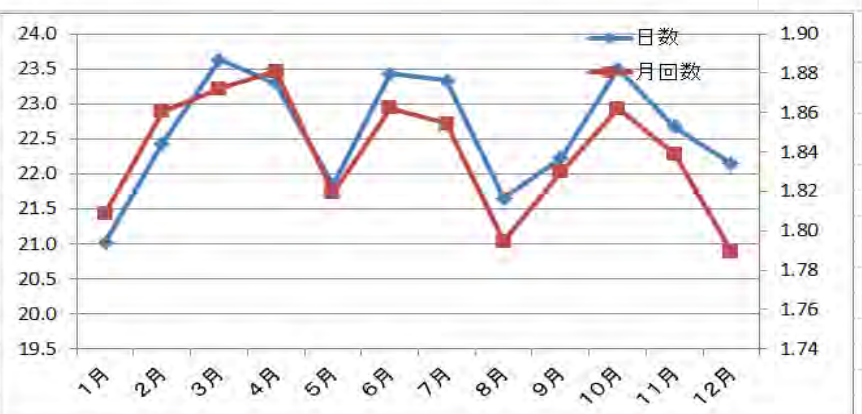
1回点数前年比較



月	実日数	1日人数
1月	581	27.6
2月	625	27.8
3月	665	28.1
4月	645	27.7
5月	609	27.9
6月	662	28.2
7月	660	28.3
8月	597	27.6
9月	617	27.7
10月	646	27.5
11月	630	27.8
12月	640	28.9
年間平	626	27.7



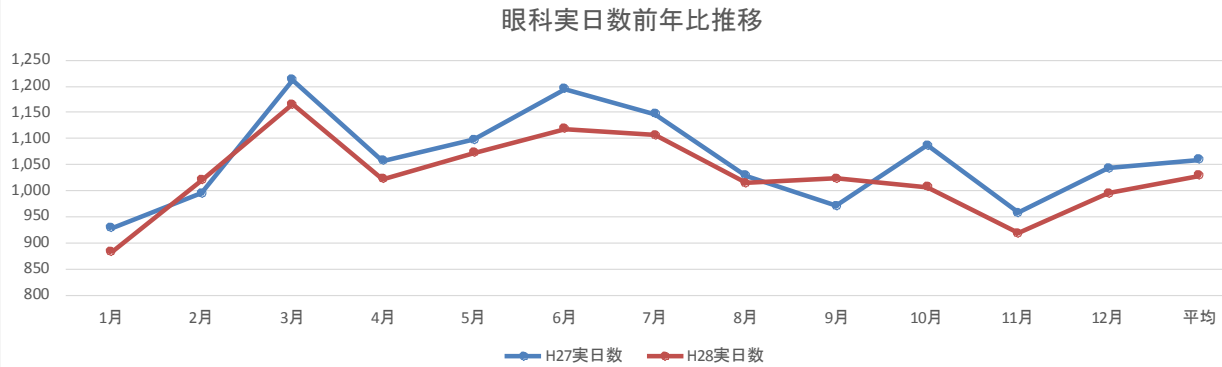
月	日数	月回数
1月	21.0	1.81
2月	22.4	1.86
3月	23.6	1.87
4月	23.3	1.88
5月	21.8	1.82
6月	23.4	1.86
7月	23.3	1.85
8月	21.7	1.79
9月	22.2	1.83
10月	23.5	1.86
11月	22.7	1.84
12月	22.1	1.79
年間平	22.6	1.84



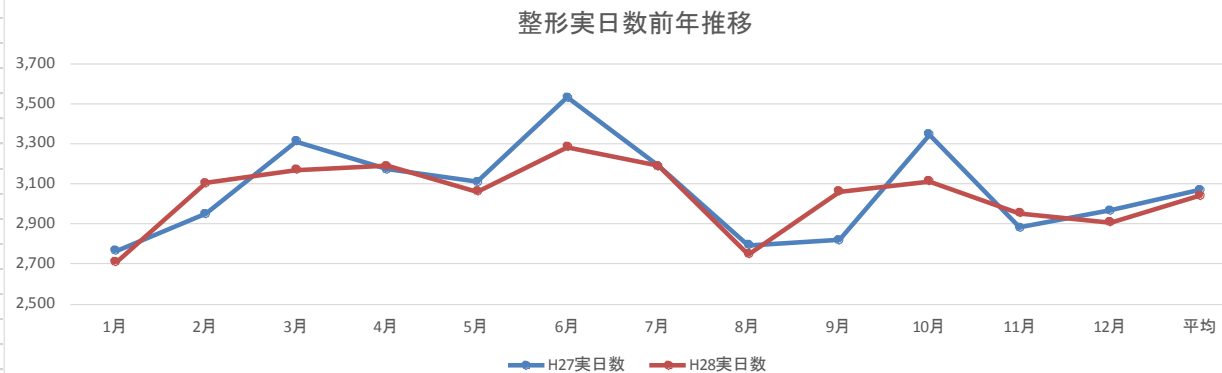
ドクター会計

医科実日数前年比推移

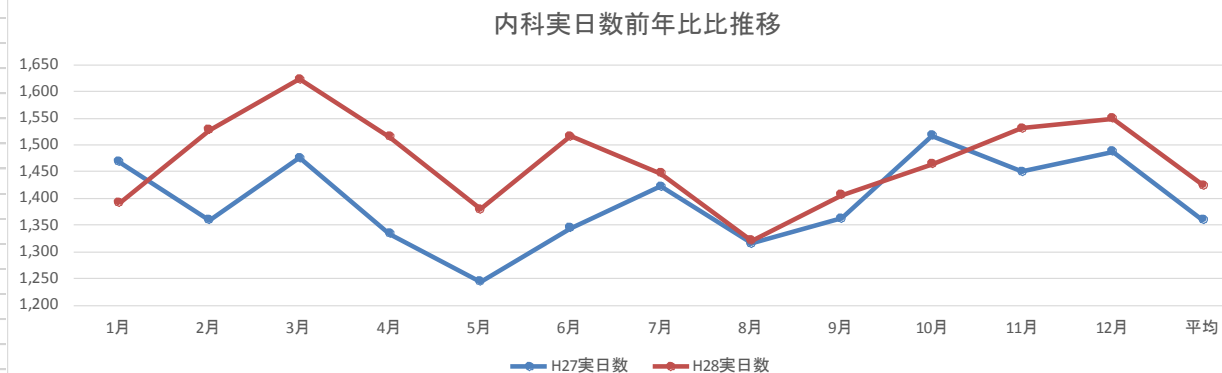
眼科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
H27実日数	927	994	1,212	1,056	1,097	1,194	1,146	1,028	970	1,086	957	1,042	1,059
H28実日数	882	1,019	1,165	1,021	1,072	1,118	1,106	1,014	1,022	1,006	918	994	1,028
前年比	95.1%	102.5%	96.1%	96.7%	97.7%	93.6%	96.5%	98.6%	105.4%	92.6%	95.9%	95.4%	97.1%



整形	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
H27実日数	2,763	2,947	3,311	3,171	3,107	3,529	3,187	2,792	2,818	3,343	2,880	2,964	3,068
H28実日数	2,705	3,103	3,168	3,188	3,059	3,282	3,187	2,747	3,058	3,110	2,951	2,907	3,039
前年比	97.9%	105.3%	95.7%	100.5%	98.5%	93.0%	100.0%	98.4%	108.5%	93.0%	102.5%	98.1%	99.1%



内科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
H27実日数	1,467	1,359	1,475	1,333	1,243	1,344	1,421	1,315	1,362	1,516	1,449	1,487	1,358
H28実日数	1,391	1,527	1,622	1,514	1,379	1,515	1,446	1,320	1,405	1,463	1,530	1,548	1,424
前年比	94.8%	112.4%	110.0%	113.6%	110.9%	112.7%	101.8%	100.4%	103.2%	96.5%	105.6%	104.1%	104.9%



医療承継

空き地にアパートを建築した場合の評価

土地の相続税評価額は基本的には路線価×面積で評価されます。そして、更地の状態であれば特段評価の減額もなく100%評価となります。都心部など路線価の高い地域で空き地などの財産がある場合はその相続税負担も大きなものとなる可能性がございます。

今回は空き地に仮にアパートを建築した場合の相続税評価額の変動について解説します。

<前提> ・ 相続税評価額 2 億円の空き地がある

・ 1 億円の借入をして 1 億円のアパートを建築し、賃貸する

● アパート建築前の財産評価額・・・土地 2 億円

● アパート建築後の財産評価額

① 建物の評価額

建物は固定資産税評価額で評価されるが、固定資産税評価額は建築価格の60%程度（概算）であり、建物を賃貸するとさらに×70%評価になります。

→ 1 億円×60%×70% = 4200 万円

② 土地の評価額

貸家が建っている土地は概ね80%評価になります（貸家建付地評価）。

さらに貸付事業用宅地として小規模宅地の特例が適用できれば×50%評価になります。

→ 2 億円×80%×50% = 8000 万円

③ 債務控除

アパート建築のための1億円の借入は債務控除として相続財産から控除できます（△1億円）。

財産評価 ①+②-③ = 2200 万円 → 2 億円から 2200 万円の評価に変化

※ 上記より空き地にアパートを建築することで、相続財産は1億7800万円分圧縮され、税率が30%であれば5340万円の相続税の節税となることとなります。

医療承継コンサルの内容を映像でご覧いただけます

QRコードを読み取りご覧下さい

